

2 兒童生徒質問調査結果

2(1) 自己肯定感等に関する状況

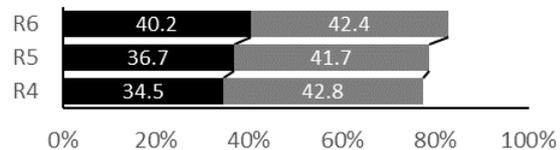
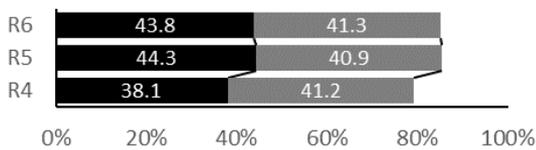
- ① 「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、近年増加傾向にある。特に中学校生徒の「当てはまる」と回答した割合は、5年前（平成31年度）より10ポイント以上増加している。
- ② 「学校に行くのは楽しいと思いますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は減少傾向であるが、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに約8割で推移している。
- ③ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、8割から9割の間で推移している。
- ④ 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加している。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

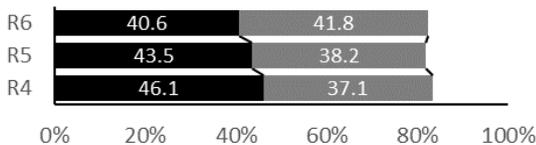
【小学校】

【中学校】

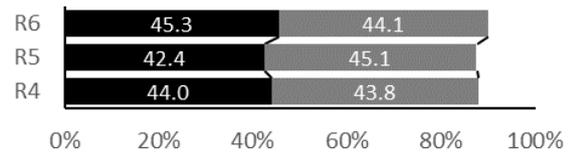
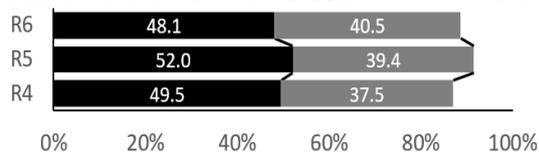
① 自分には、よいところがあると思いますか



② 学校に行くのは楽しいと思いますか

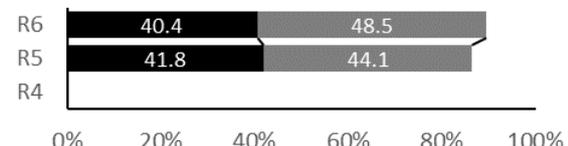
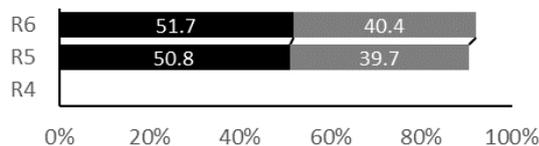


③ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



④ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか（※R5からの調査項目）

【凡例】 ■ よくある ■ ときどきある



自己肯定感等を高めていくためには、児童生徒が多様な価値やよさを認め合うことが大切である。そのために教師は、学びに遊びや体験を取り入れたり、異学年との日常的な交流の場を設けたりするなどの工夫をしていくことが大切である。

2(2) 他者との関わりや協働的な学びに関する状況

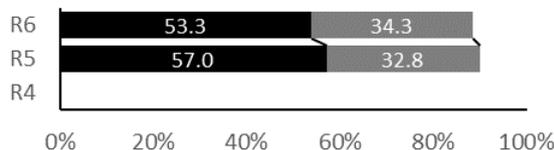
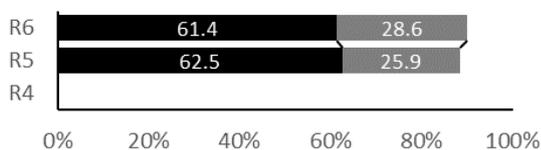
- ① 「友達関係に満足していますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校ではやや増加しており、中学校ではやや減少している。
- ② 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、7割から8割の間で推移している。
- ③ 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えている。
- ④ 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では増加し、中学校では減少している。
- ⑤ 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加している。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

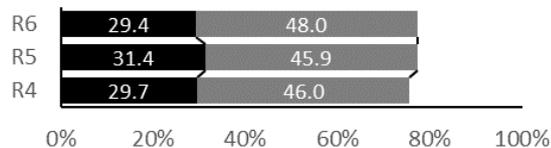
【小学校】

【中学校】

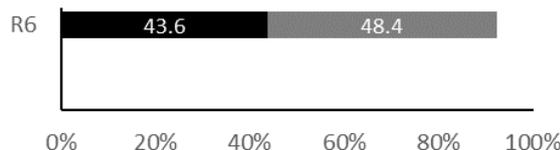
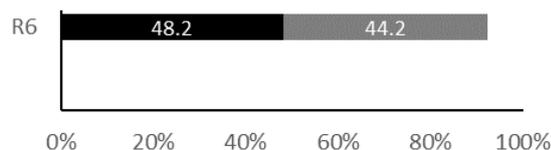
- ① 友達関係に満足していますか（※R5からの調査項目）



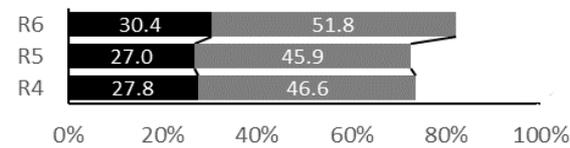
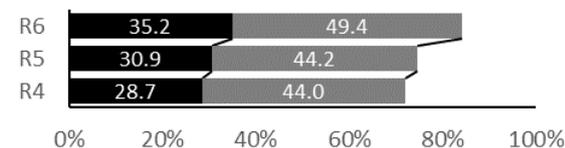
- ② 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



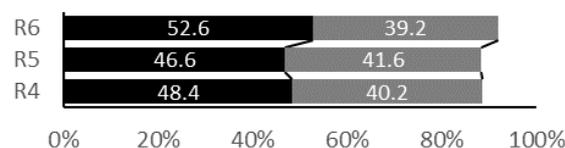
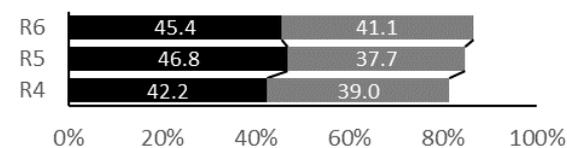
- ③ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか（※R6からの調査項目）



- ④ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



- ⑤ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか



話し合いや他者との協働の土台は、児童生徒同士や、児童生徒と教師のあたたかな関係性である。これからも、心理的安全性が高い授業づくりを進めていくことが大切である。

2(3)-1 主体的・対話的で深い学びの視点から

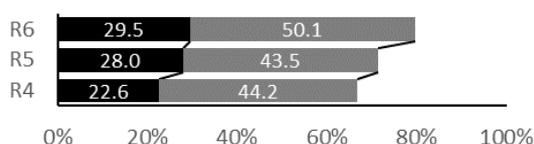
- ① 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加傾向にある。特に、中学校において「当てはまる」と回答した生徒の割合は、学習指導要領改訂前（平成28～31年の平均10.6ポイント）と比べると2倍以上増え、全国平均に近づきつつある。総合的な学習の時間が、生徒にとって探究的な学びを実現する時間となってきた表れと考えられる。
- ② 「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに8割を超えている。
- ③ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では8割前後、中学校では7割前後で推移している。
- ④ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともにやや増加して6割を超えている。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

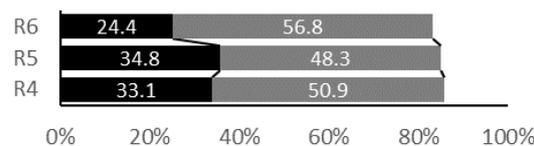
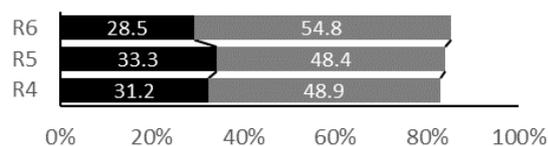
【小学校】

【中学校】

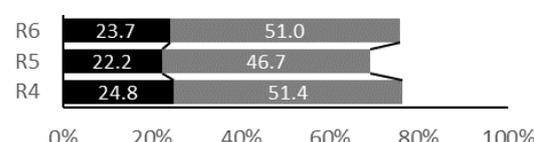
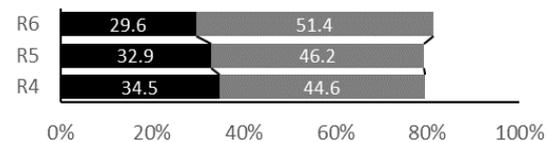
- ① 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



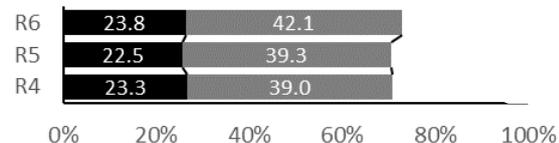
- ② 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



- ③ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



- ④ 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



「主体的・対話的で深い学びの視点から」は、次ページに続きます。

2(3)－2 主体的・対話的で深い学びの視点から

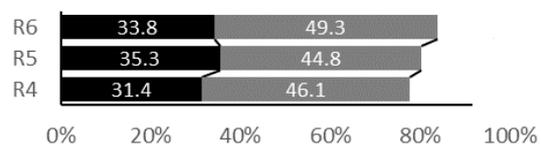
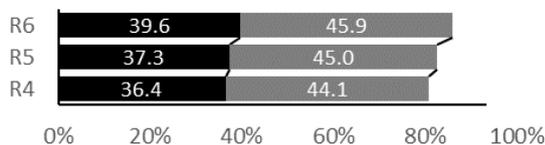
- ⑤ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加している。
- ⑥ 「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加している。
- ⑦ 「前年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともにやや増加して8割を超えている。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

【小学校】

【中学校】

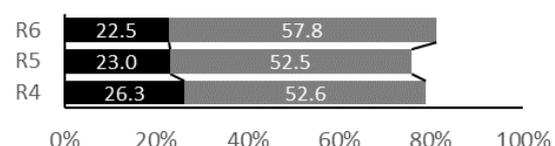
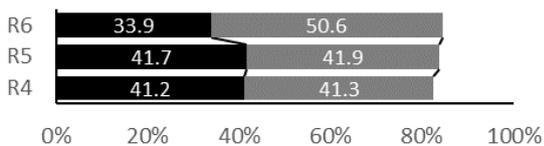
- ⑤ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



- ⑥ 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



- ⑦ 前年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



総合的な学習の時間の改善（結果①）に限らず、教科や特別活動などすべての教育活動において、児童生徒が自ら課題を見つけ、情報を収集し、整理・分析しながら問題解決に取り組み、明らかになったことを表現していく一連の営みが大切である。

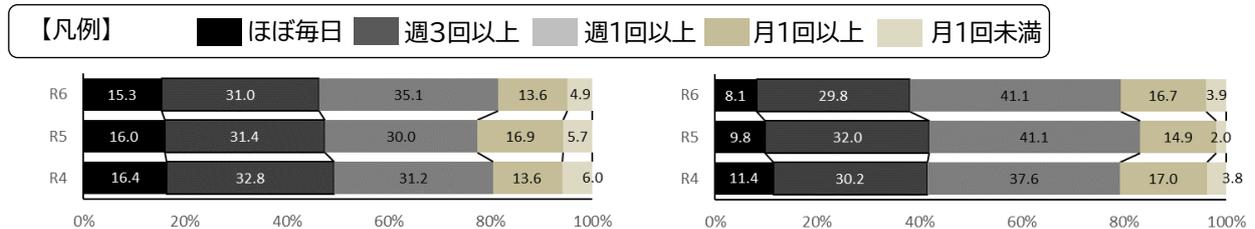
2(4) ICT機器を活用した学習状況

- ① 「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問では、ICT機器の使用頻度が「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童生徒の割合は減っているが、小学校では「週1回以上」、中学校では「月1回以上」と回答した児童生徒の割合は令和5年度より増えている。
- ②～④ 「前年度までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、②～④のいずれの質問においても、小学校・中学校ともに全国と同程度である。ただし、「とてもそう思う」と回答した児童生徒の割合は、②～④のいずれの質問においても、小学校・中学校ともに全国より低い。

【小学校】

【中学校】

- ① 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

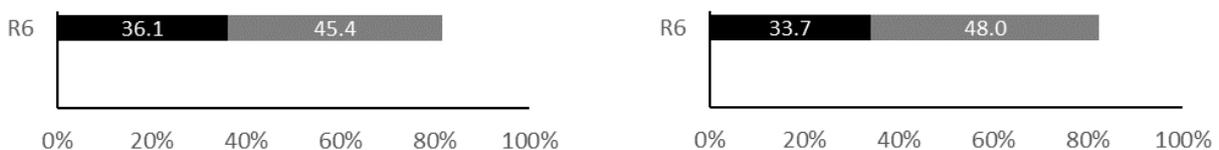


前年度までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

- ② 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる（※R6からの調査項目）



- ③ 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる（※R6からの調査項目）



- ④ 友達と協力しながら学習を進めることができる（※R6からの調査項目）



単元や題材に応じて同時共同編集機能を活用し、互いの考えを参照しあうことを通じて「協働的な学び」の充実を図ることが大切である。また、ご家庭でも利用促進に向け、一層のご理解・ご協力をお願いしたい。

2(5) 国語に関する児童生徒の興味関心

- ① 「国語の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、令和5年度と比べると、小学校ではやや減少しており、中学校ではやや増加している。
- ② 「国語の勉強は大切だと思いますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えて推移している。
- ③ 「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では9割近くで、中学校では8割を超えて推移している。
- ④ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えている。

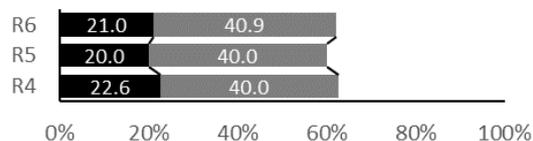
【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

【小学校】

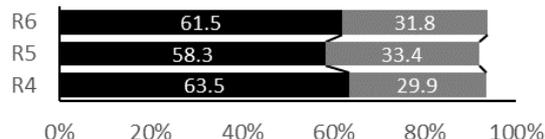
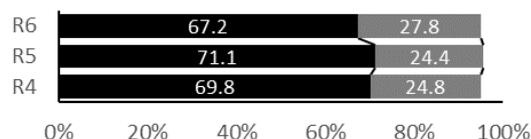
① 国語の勉強は好きですか



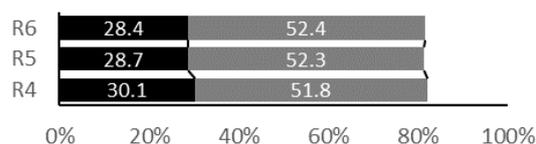
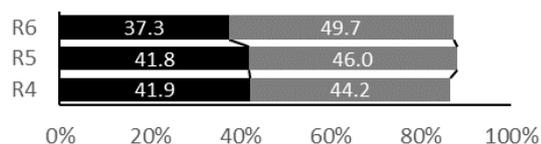
【中学校】



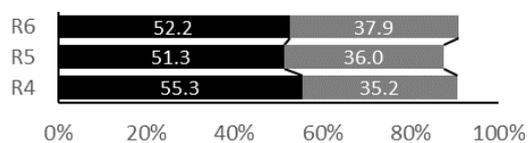
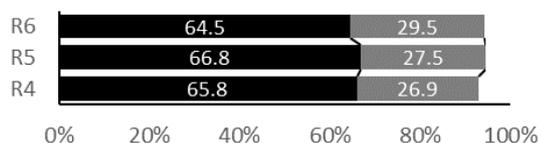
② 国語の勉強は大切だと思いますか



③ 国語の授業の内容はよく分かりますか



④ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



2(6) 算数・数学に関する児童生徒の興味関心

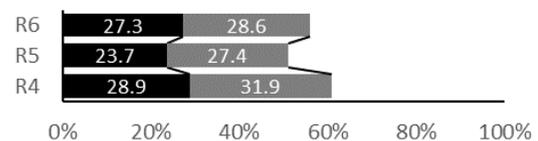
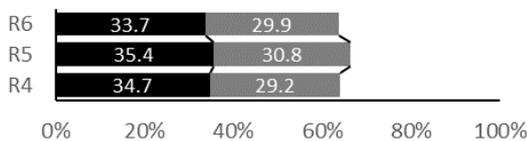
- ① 「算数・数学の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では6割を超えて、中学校では5割を超えて推移している。
- ② 「算数・数学の勉強は大切だと思いますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では9割を超えて、中学校では9割近くで推移している。
- ③ 「算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では8割を超えて、中学校では7割を超えて推移している。
- ④ 「算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では9割を超えて、中学校では8割近くで推移している。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

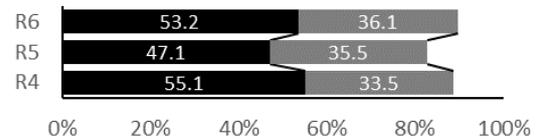
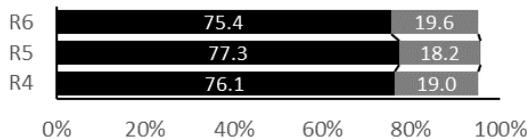
【小学校】

【中学校】

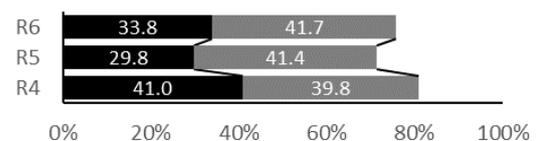
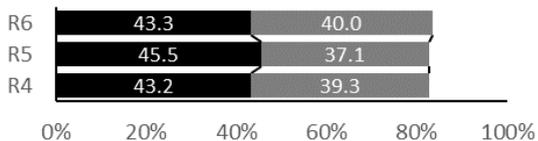
① 算数・数学の勉強は好きですか



② 算数・数学の勉強は大切だと思いますか



③ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



④ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか

